

# 自然科学における研究成果の公表 ～機関リポジトリ及びDOI登録との関連～

京都大学理学研究科 森 哲

# 科学における研究成果の公表とは？

研究成果の公表は義務である

（公的資金、科学的知識は万人共通の財産）

論文として出版して公表することが必要

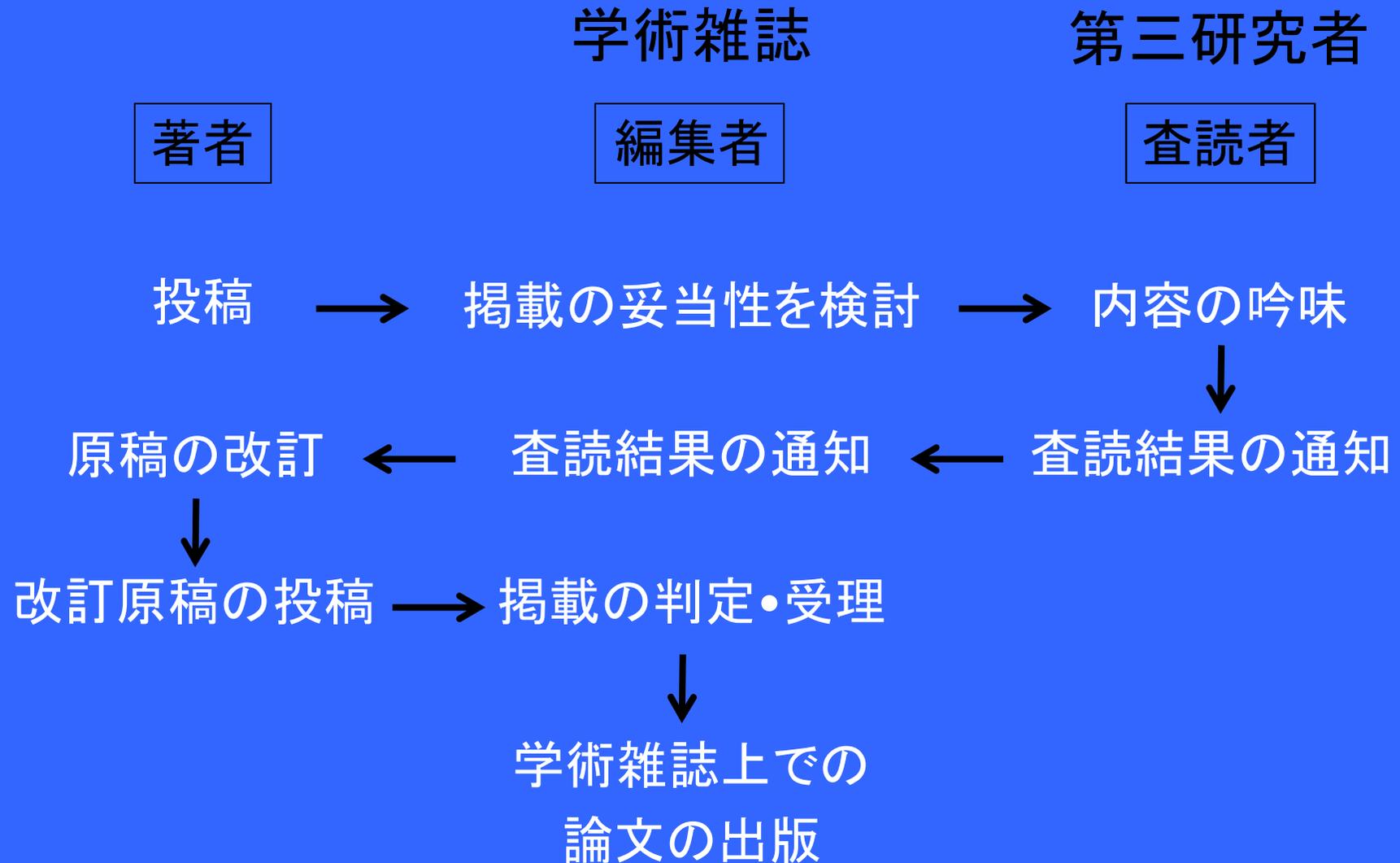
口頭による学会大会での発表は「公表」ではない

科学的知見は論文のかたちとして後世に残される

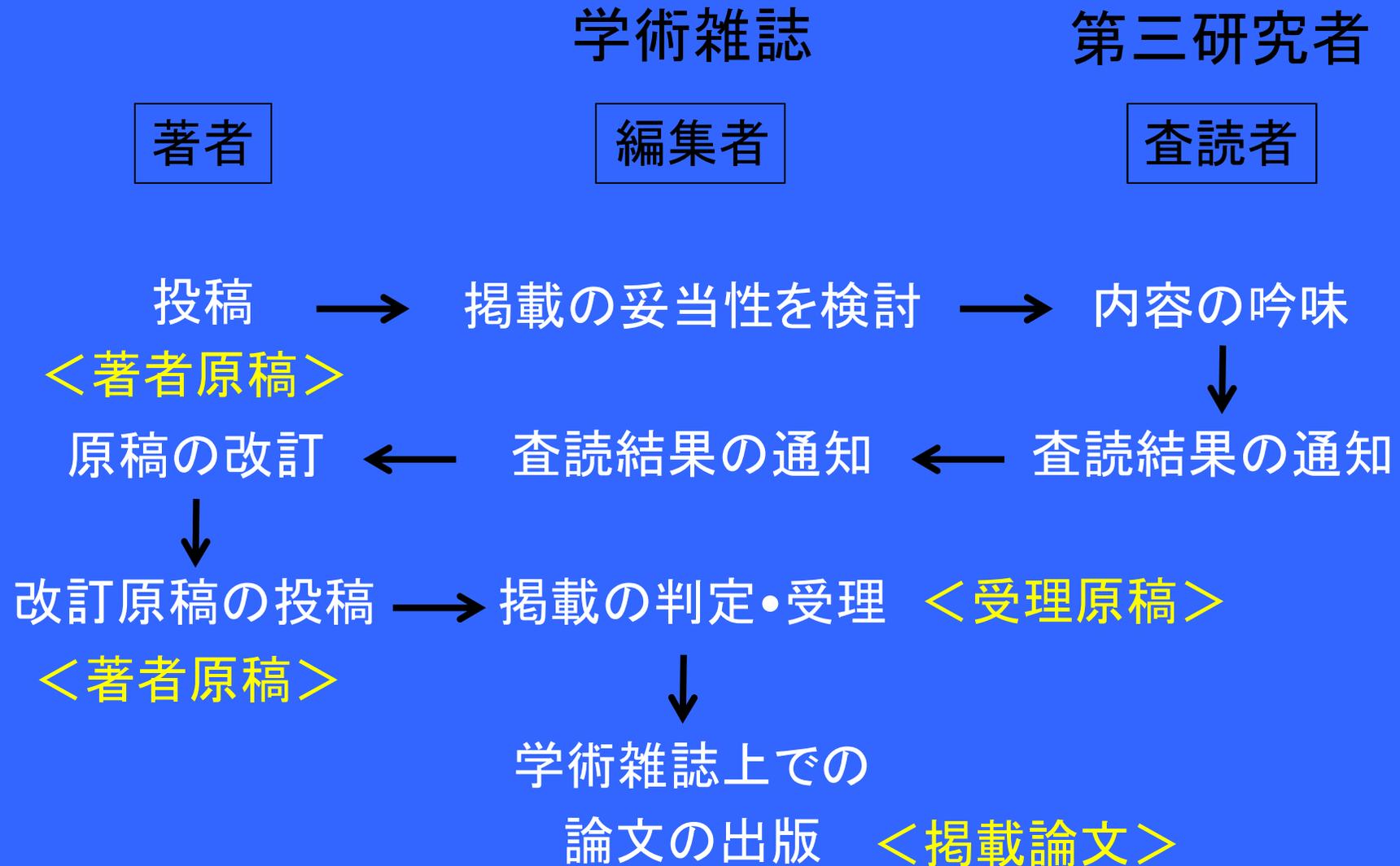
誤った知見や解釈が蓄積されないよう

論文は公表される前に第三者によって査読される

# 学術雑誌における査読の過程



# 学術雑誌における査読の過程



# 著者原稿の機関リポジトリの意義は？

紙媒体 — 流布に限界

デジタル媒体 — 閲覧流布の拡大

DOIの付与 — 検索、引用のさらなる拡大？

\* オープンアクセス

→ 誰(非専門家)でも容易に閲覧できる

→ 信頼できる情報を公開する義務

# 著者原稿の機関リポジトリの意義は？

著者初稿原稿  $\neq$  掲載論文

著者受理原稿  $\doteq$  掲載論文

→ 似て非なる複数の「論文」の存在



混乱

科学界では

どの学術雑誌に研究成果が掲載されたか  
によってその研究内容が評価されるのが現実

業績評価 → 就職、昇進、研究費獲得

# 学位論文の機関リポジトリ

紙媒体 — 流布に限界

(Unpublished doctoral thesis)

デジタル媒体 — 閲覧流布の拡大

DOIの付与 — 検索、引用のさらなる拡大？





# 理想と現実の乖離

## 機関リポジトリ

著者原稿  
学位論文  
(査読なし)

著者 無料  
読者 無料

オープン  
アクセス

## 学術雑誌

掲載論文  
(査読あり)

著者	有料	著者	無料
読者	無料	読者	有料

公開、査読(信頼性の確保)、業績評価の並立

# 解決策 (遠い道)

- \* 信頼のできる学術雑誌を  
国が発行、無料で論文を掲載、公開
- \* 業績評価方法の見直し
- \* 出版業者依存の学術雑誌発行の廃止